

<b>〔科目名〕</b> <p style="text-align: center;">教育心理学</p>	<b>〔単位数〕</b> <p style="text-align: center;">2 単位</p>	<b>〔科目区分〕</b> 教職科目(必修)																					
<b>〔担当者〕</b> <p style="text-align: center;">鈴木郁生 SUZUKI Ikuo</p>	<b>〔オフィス・アワー〕</b> <b>時間:</b> 授業開始時に明示する <b>場所:</b> 614 研究室	<b>〔授業の方法〕</b> 講義																					
<b>〔科目の概要〕</b> 本科目では、教育実践の基礎となる教育心理学の理論や知識について幅広く学んでいく。具体的には、発達、学習に関連する教育心理学の基礎領域について学ぶ。発達領域では、乳幼児から青年期までの心身の発達について、学習領域では人間の記憶や認知などの学習過程の基礎及び教授法について学ぶ。この授業を通して教育心理学の様々な内容に触れ、その知識を教育実践の場で効果的に役立てられるようになることを期待する。																							
<b>〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕</b> 本科目は教育職員免許法に定められた「教育の基礎的理解に関する科目」であり、「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」の事項に関わる科目である。教員免許取得のための必修科目として定められている。 教育実践の場に立つためには、ただ教える教科の内容や技術だけを学ぶだけでは不十分である。そこで本科目において、その実践の支えとなるような理論、根拠となる知識について学ぶ。例えば、幼児・児童または生徒と向き合うためには、その年代の子どもの心身の発達についての知識が役に立つだろう。あるいは記憶や学習過程への理解は、子ども達の学習を効果的に支援するために必要となる。 このように、本科目で学ぶ内容は、教育の基礎として重要な意味合いを持っている。免許種別にかかわらず、学習に励んでもらいたい。																							
<b>〔科目の到達目標〕</b> 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。																							
<b>〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕</b>																							
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">学部</th> <th colspan="3">学科</th> </tr> <tr> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> <th>DP4</th> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3		○		○			
学部				学科																			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																	
	○		○																				
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> 授業評価では、概ね肯定的な評価をしてもらっている。																							
<b>〔教科書〕</b> 使用しない。																							
<b>〔指定図書〕</b> なし																							
<b>〔参考書〕</b> 授業時に適宜紹介する。																							
<b>〔前提科目〕</b> なし。																							
<b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b> 期末試験を行う。また授業中に適宜課題を課す。これらを総合して評価する(期末試験は、評価の概ね 80%程度																							

である)。	
<p><b>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</b></p> <p>教育心理学について、ただ知識として伝えるのではなく、そのような知見が得られた過程についても話していくつもりである。受講者は、用語や理論をただ暗記するのではなく、その根拠や研究過程についても理解するよう心掛けて欲しい。また受講者の理解が進むよう、具体的な例を挙げながら授業を進める予定である。受講者も好奇心を持ち、自らの経験等に照らしながら学習を行ってほしい。</p>	
<p><b>〔実務経歴〕</b></p> <p>該当しない。</p>	
授業スケジュール	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか)： オリエンテーション・教育心理学と研究法</p> <p>内 容： 教育心理学の歴史や領域、研究法について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか)： 発達段階と発達課題</p> <p>内 容： 発達段階や発達課題など、生涯発達に関わる基礎的理論・概念について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか)： 感覚知覚および運動に関する発達過程</p> <p>内 容： 感覚知覚および運動に関する発達過程について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか)： 言語および社会性に関する発達過程</p> <p>内 容： 言語および社会性に関する発達過程について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか)： 知的側面にかかわる発達</p> <p>内 容： 認知、思考に関するピアジェの発達理論の解説。感覚運動期・前操作期・具体的操作期・形式的操作期それぞれの特徴について概説する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか)： 道徳性の発達</p> <p>内 容： 道徳性に関する発達心理学の知見について紹介する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか)： 青年期の発達的特徴と同一性</p> <p>内 容： 青年期を取り巻く状況や青年期に生じる発達的特徴を通じ、青年期観を問題とする。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか)： 学習理論(古典的条件づけ)</p> <p>内 容： 古典的条件付けを中心に学習理論を紹介する。</p> <p>教科書・指定図書</p>

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学習理論(オペラント条件付け)</p> <p>内 容: オペラント条件付けをはじめとする学習理論について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 動機づけ</p> <p>内 容: 内発的動機づけと外発的動機づけについて学び、その関係についても解説する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 認知機能と学習</p> <p>内 容: 記憶・思考の基本的なメカニズム、および学習に関わる特性について紹介する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学習教授法</p> <p>内 容: 集中学習・分散学習や受容学習・発見学習など、学習や教授の方法および評価に関する考え方について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 集団とその心理的特徴</p> <p>内 容: 集団規範やソシオメトリーなど学習集団に関する基礎的知識を理解する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 社会情緒的側面と学習</p> <p>内 容: 社会情緒的側面と学習について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 教育心理学の今日的課題</p> <p>内 容: 教育心理学における今日的な課題について論じる。</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	